



**子育てジョイカードの
拡充**
鈴木 めぐみ（政新クラブ）



問／事業の対象となる3人以上の子どもを養育する多子世帯の割合は。また、拡充の必要性は。

答／対象は子育て世帯の14%。

答／対象は子育て世帯の14%。協賛企業の協力で実施しているため、創設当初の趣旨に沿って継続していくことが適当で、対象世帯を拡充する考えはない。



小中学校の熱中症対策は

問／令和5年度の猛暑下での児童の熱中症の状況及び対応は。

答／救急搬送を要した事案が小学校で1件、中学校で3件発生し、搬送先で処置を受けた。また、熱中症警戒アラートが発令された場合、活動前や活動中の暑さ指数をこまめに確認し、暑さ指数が31を超えた場合は、活動内容を変更する措置を講じている。

問／普通教室以外の教室へのエアコンの設置状況はどうか。設置していない教室へ早期に設置すべきでは。

答／全ての学校の図書室とコンピュータ室には設置済みである。未設置教室へのエアコン設置については、必要性を強く認識しており、今後、計画的に設置していく。



**コミュニティプラザ
全地域自治区に設置を**
栗田 英明（政新クラブ）



問／コミュニティプラザは地域自治の象徴であり、地域活動の拠点施設である。13区には設置されているが、旧上越市域15区にはない。公民館等を活用して設置すべきではないか。

答／15区においては、市民活動拠点施設は充足していると考えている。公民館等を位置付けていくという考え方については地域自治推進プロジェクトの中で検討していく。

地域自治の強化に向けて

問／地域自治の担い手である住民の意識醸成、町内会や地域活動団体との連携、支援を強化する必要があるのではないか。

答／地域独自の予算事業を通じて、意識醸成や信頼関係の構築、強化を図っていききたい。

問／その地域独自の予算は地域自治区の事務所や行政が主体になり、地域と話し合って企画実行する仕組みにすべきではないか。

答／現在は、地域の団体等が総合事務所等と話し合いながら事業を進める仕組みとなっている。

問／地域協議会は本来、地域自治強化のために地域と行政の協働を推進する役割であることを再認識の上、令和6年の改選に当たってほしい。

答／法では、諮問や自主的審議を通じ市に意見を述べるができることと規定されている。改選に向けて理解が深まるよう工夫、周知していく。



**長期にわたる
未着手路線の整備促進**
飯塚 義隆（久比岐野）



問／市道整備は、路線ごとに評価し、優先順位を定めた上で整備が進められる。評価基準に満たない路線は、いつまでも整備されない。町内会等から長年にわたり整備要望が繰り返されている状況を踏まえ、整備評価基準を見直すべきではないか。

答／整備評価基準は、次期計画においても全国的な方針や地域課題に基づき、見直しの検討を進めている。また、長期にわたる未着手路線については、次期計画策定に際して、整備の必要性を再検証し、あわせて実現可能な方法について検討する。

雨水管理総合計画の推進

問／雨水管理計画は、雨水幹線や排水ポンプの整備方針、整備地区、優先度などを記載しているが、設置年度が示されていない。この計画に基づいて、具体的な整備計画を示すべきではないか。

答／雨水幹線整備は、住宅密集地での施工、ガス・水道管等の地下埋設物の移設、交通形態の構築、国の交付金の将来見込み等、不明確な要素がある。また、現地での測量や設計が必要となることから、長期の整備計画を作る予定はないが、短期間での計画は検討してみる。

